

熊本まちなみトラスト 2023年3月18日

# 菊池川河口の港町 高瀬と伊倉

玉名市立歴史博物館こころピア 館長 竹田宏司



高瀬

伊倉



# 日本最古の 中国人墓が 玉名に！

郭濱沂(肥後四官)墓  
元和5（1619）年

市指定史跡「肥後四位官郭公墓」。江戸時代はじめの福建海商の墓。年代がわかるものとしては、長崎の「呉三官墓」とともに日本最古の中国人墓。イギリス商館長の日記には「肥後四官」の名で登場。加藤清正の対外貿易なども担っていたと考えられる。

# 日本で2番目に古い 年号を持つ中国人墓 も玉名に！

林均吾墓 元和7（1621）年

慶長9（1604）年～慶長12（1607）  
年の間に5回の朱印状を得て、マカオ、フィリ  
ピン、ベトナムなどへ船を出した「林三官」とい  
う人物がおり、林均吾はその一族ではないかと  
考えられている。

お墓があるということは、定住し拠点置いて  
活動していたということ。唐人町の存在。





## 謝振倉墓

本堂山にある中国人墓。墓地公園造成の際に発掘調査が行われた。夫婦とみられる2体を埋葬。年号はないが「大明」とあり、やはり同時期のものか。

## 吉利支丹墓碑

伊倉の唐人町にあるかまぼこ型の墓碑で、明治時代に掘り出されたと伝わる。慶長年間のものともみられている。当時の西洋人のものとされる「バテレンの頭髪も」伝わる。



# 江田船山古墳

銀象嵌銘文入り鉄刀をはじめとする出土品は国宝。  
ワカタケル大王（雄略天皇）に仕えた典曹人无利呂（ムリテ）の名がある。





# 伝左山古墳

官軍墓地

保田本陣跡

保田本陣跡

龍造寺隆信の首塚

高瀬川



伝左山古墳

黒馬とけさん

箱何山古墳

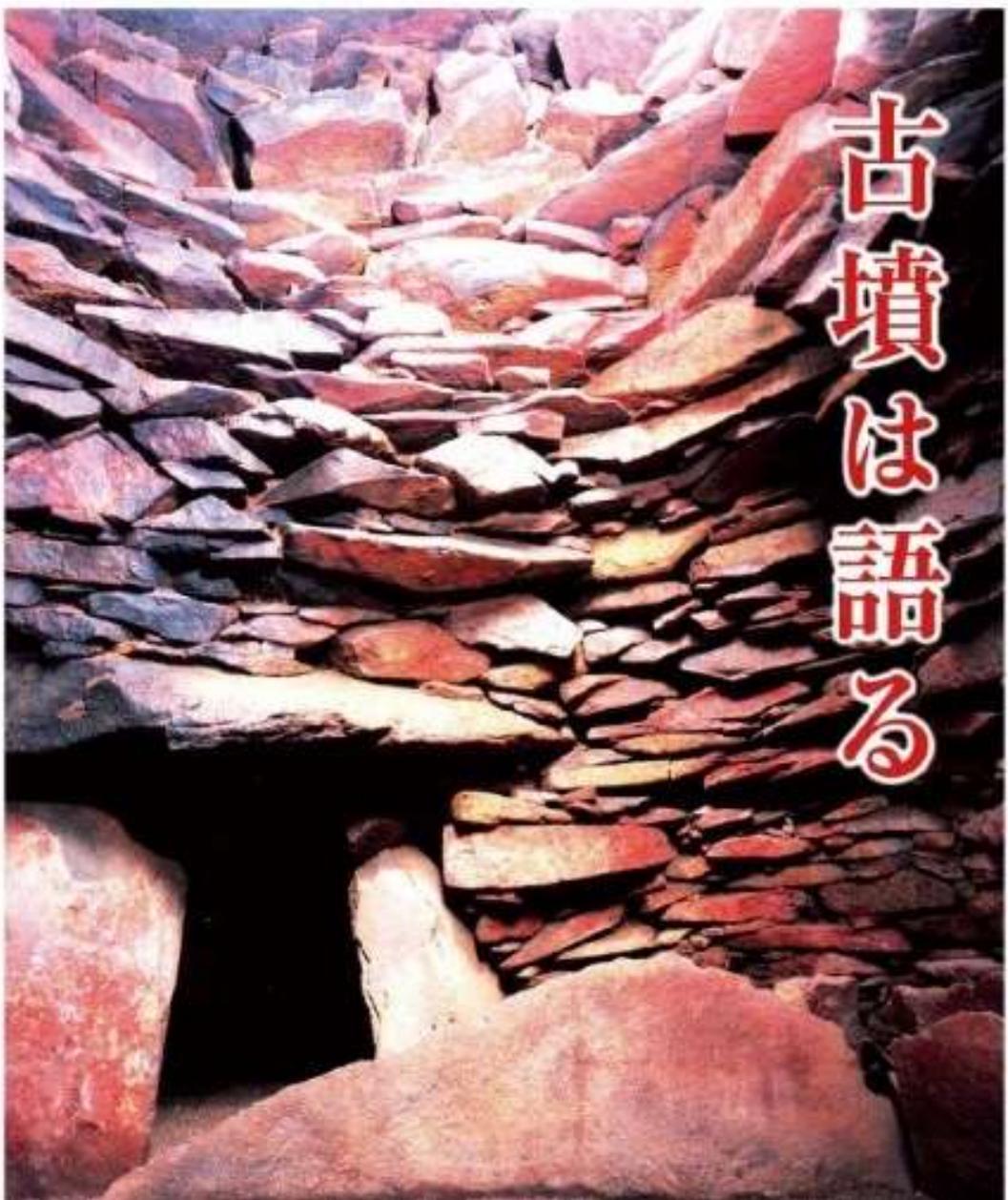
黒馬とけさん

宝成就寺跡の古塔碑群

紫根木小幡宮

高瀬眼鏡橋

利十郎眼鏡橋



繁根木に眠る 五世紀の王は  
大量・多彩な武器と  
金の耳飾りを持っていた。

玉名市指定史跡 伝左山古墳





大刀と朝鮮半島製の素環頭大刀  
(歴史博物館こころピア蔵)



鉄製のよろい (鉾留短甲)  
(熊本博物館蔵)



金の耳飾り  
(東京国立博物館蔵)



九州国立博物館の特別展「伽耶」

# 菊池川から有明海 そして外海へ



大阪府藤井寺市 長持山古墳1号石棺  
古市古墳群市ノ山古墳の陪塚径40mの円墳。2号石棺は  
宇土産。近くの唐櫃山古墳にも玉名産の石棺がある。

玉名市天水町 経塚古墳石棺  
4世紀後半。現況でも径45mと県内最大級の円墳。  
石棺は瀬戸内海から近畿地方へ運ばれている。



# 大王のひつぎ実験航海 2005年7月



「その輸送行事は、大王の権威と地域の服属関係を明らかにし、地域と王権のネットワークを維持するうえで、重要な役割を果たしたと想像される。」桃崎祐輔2007

復元古代船「海王」が曳く台船に石棺を載せて大阪に向けて宇土を出航。一月ほどかけて大阪南港に到着。運ぶこと運ばせることに意義があった。ヤマト政権との関係。



# 天水経塚・大塚古墳群

経塚古墳墳頂から有明海・早瀬瀬戸方面を望む。  
右手が雲仙、左手に三角岳。



天水大塚古墳は4世紀の前方後円墳。墳長は100mほどで有明海沿岸では最大級。天草灘から有明海に入ると正面に巨大な前方後円墳が見えていた。



# 菊池川の中世河口港



## 中世の輸入陶磁器

菊池川の河原では、多くの中国製青磁などが採集されている。平安時代の終わりから急増。入れ替わりに小代山周辺の製鉄が衰退。鉄も輸入していたらしい。



# 菊池川の中世河口港

## 竹崎観音堂

天水町竹崎を「蒙古襲来絵詞」を描かせた竹崎季長の本貫地とする服部英雄氏の説がある。



## 竹崎観音堂の唐茶

栄西が持ち帰った茶樹の種が梶ノ尾で育てられ、明恵によってもたらされたとされているが、中国からもたらされたものかも。

# 菊池川下流域の船着場と港町



## 高瀬船着場跡

菊池川流域の米は高瀬御蔵に集められ、年に20万俵がここから船積みされて大坂へと運ばれた。御蔵は西南戦争で焼失。

## 高瀬目鏡橋

五か町として栄えた高瀬の表玄関。嘉永元年（1848）の架橋。町衆らによって架けられた。



# 菊池川下流域の船着場と港町



## 晒船着場跡

文化5年（1808）には、御米山床が設置され、天保5年（1835）には高瀬御蔵の支所として整備された。

## 大浜町

大坂屋や長崎屋などの廻船問屋が栄え、外嶋宮などには商人たちから廻船模型や燈籠や狛犬などが奉納されている。



# 祝 国指定史跡 熊本藩高瀬米蔵跡

高瀬船着場跡・高瀬御蔵跡・晒船着場跡





## 高瀬川橋梁

明治24年（1891）九州鉄道開通。高瀬駅が設置される。時代は鉄道輸送へ。大正5年（1916）には機関車の大型化に伴い、上部のみ架け替え。高瀬は港としての役割を終える。